



備えあれば憂いなし

東海～関東地震は2006年までにほぼ確実に起きるといわれていますが、多くの学者や研究者が、すばらしい技術や学問をもってしても、未だ予知・予防できないことのひとつに地震があります。何時、どのような規模で発生するのか、完璧に予知し備えることは現時点では不可能といえるでしょう。何時、起こるのか予測できないからこそ、日ごろの小さな準備が家族を守る大きな予防に繋がるのではないのでしょうか。まずは、自分でできる小さな準備を始めてみませんか・・・

玄関・逃げ道となる廊下及び階段

玄関は重要な脱出口！

- * 整理整頓はもちろんですが、照明が消えていても落ち着いて外に出ることが出来るか、確認しておきましょう。
- * 玄関ドアは地震時には歪んで開かなくなる可能性があります。45 cm程度のパネルがあると便利です。



充電式非常灯

停電時に自動的に30分から1時間程度点灯する物です。また、懐中電灯代わりに成ります。(¥3500～¥4000)
これを玄関に近い廊下のコンセントにさしておきます。

トイレ

柱・壁が集中しているため
通常は最も安全な場所です。

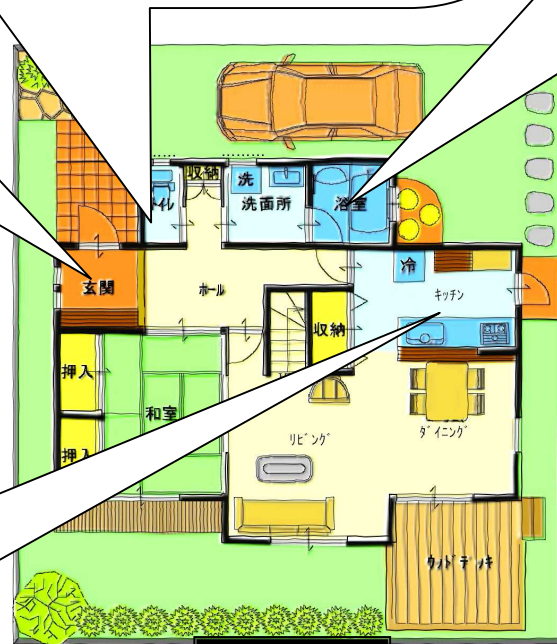


- * 棚等が頭上にある場合は、落ちてこないように天井のさんにビスとめをして補強。
- * トイレの棚にはペーパー以外はおかないよう

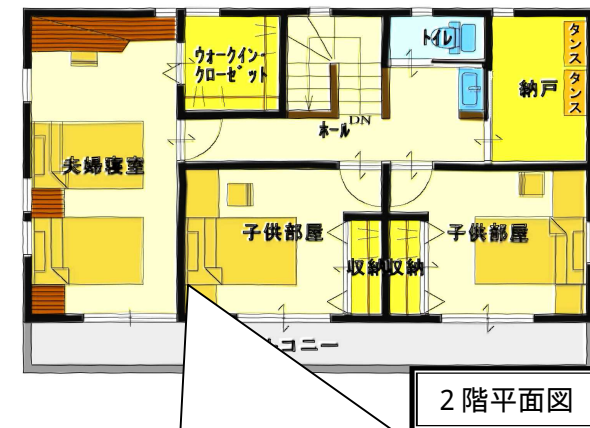
浴室

比較的安全な場所なので、いきなり飛び出さず
まずドアを開けてオケなどで頭を保護し様子を見ましょう

- * 窓ガラスは合わせガラスもしくは、フィルムを貼っておく。(入り口ドアにガラスが入っていれば同様に)
- * 浴槽には常時、水をはっておく



1階平面図



2階平面図

台所

火を使ったり、食器が落ちてきたり一番危険な所！

- * ガスメーターは地震感知式？(この装置は震度5以上の地震時に供給を遮断する)もしそうでない場合はガス店に相談。
- * コンロの近くに燃えやすいものを置かない。
- * 吊戸棚・食器棚からの内容物の落下防止の(耐震キャッチ・ストッパー)取付を。



寝室・子供室(各個室)

- * 寝る前に窓ガラスにはカーテンを掛ける。これはガラスが散乱するのを防ぐため。(可能な限りガラスにはフィルムを)
- * 足にケガをすると避難・脱出が困難になりますので靴下及び靴を枕元に置くと安心。
- * 照明器具は吊り下げ式よりも天井直付け式に。
- * 家具や電化製品には転倒防止用の金具等定を。



災害時の豆知識

常用持ち出し袋の中身を今一度、確認してみてください。

救助は3日目以降

に来るとというのが過去の災害時の現実です

避難及び脱出可能な荷物の荷重は

男性10キロ・女性5キロ

地震などの災害発生時には、多くの方が一斉に電話をかけられるため、電話がかかりにくくなります。このような電話がかかりにくい状態でも家族間の安否確認や集合場所の連絡にご利用いただけるサービスをご存知ですか？

171+1+ 自宅電話番号 で録音

171+2+ 自宅電話番号 で再生

災害伝言ダイヤルは有料。伝言の録音・再生時の通話料のみ必要です。伝言蓄積時のセンター利用料は無料です。

窓ガラス・家具ガラス等の防災フィルム
あるとないでは大違い！！